

寄せられた意見

No. 171-1

| | | | | | |
|---|------------|----|-----|------------|-----|
| 受付日 | H18. 9. 29 | 年齢 | 61歳 | 居住 市町村名 | 上川町 |
| 件名 | | | | | |
| 上川町 [黒塗り] (61才) | | | | | |
| <p>始めに、釈迦に説法であることをお許し願いたい。 H18. 9. 28日の「天塩川流域委員会」を拝聴した感想と、過去数回参加し、感じたままに私、個人として感想を記する。</p> <p>天塩川の河川改修計画についてダム建設も含め、建設的な意見を期待している一人ですが、あまりにも幼稚な発言と決断のなさに怒りを禁じ得ない。 自分の意見を述べる時は今、自分が現在暮らしている生活に照らし合わせ、社会全般の現状を考え合わせて発言をしなければならない。 現在、あらゆる恩恵を甘受していながら、他の意見を総て否定することは小学生にも劣る。 発電によりおこされた電気により、暖かい水洗トイレの便器に座り、農家の人たちが苦勞して作る米をはじめとした作物を食し、洪水も渇水も無い平穏な生活と言うのは、あり得ないことであり、人間が生きていくと言うことは、いろいろな犠牲の上に成り立っていることに論をまたない。</p> <p>[黒塗り] 委員が洪水、渇水の話をして、その身に成って受け止めることが出来ないのは何故だろうか、それは洪水も渇水も経験したことが無いからであろう。 自分の身に置き換え、身体で感じる事など到底できないから、相手の意見にも耳を傾けない。新聞記事も又しかり、公平な意見を述べているとは言えない。 読者の人達に洪水、渇水も甘んじて受け、それでダムの建設には反対、と言うのであれば立派な意見であり、もちろん反対するからには、国家を当てにせず責任を負うのは当然のことであり、責任の伴わない人間の行動は、本来どこにもないからである。</p> <p>H18年5月11日の洪水（岩尾内ダムでの流入量340 t / sec）を聞き流していませんか、岩尾内ダムでの渇水を知っていますか（流入量3 t / sec）その時のダムからの補給量は、約30 t / sec この時もしダムが無かったらどうなるかを実感出来ますか。 「惻隱の情」と言う言葉の意味を、委員の方々は再度噛み締めてほしい。</p> <p>地球上におおよそ14億 km³ 有る水のうち97.5% が海水で淡水は約2.5% 大部分は南極と北極にあり河川、湖沼、地下水でわずか0.8% にすぎない。 ほとんどが地下水で、その内河川、湖沼の量は地球上のわずか0.01%程度である。 （世界「水」会議より） 我が国の特長として、山地が7割を占める急峻な地形のため降った雨は、急流河川となり一気に流出してしまう。 このことは大量の雨が降ると瞬時に大洪水となり、逆にいったん日照りが続くと大渇水につながるという日本の河川の特長を表している。</p> | | | | | |

※ [黒塗り] 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 171-2

| | | | | | |
|---|------------|----|-----|------------|-----|
| 受付日 | H18. 9. 29 | 年齢 | 61歳 | 居住 市町村名 | 上川町 |
| 件名 | | | | | |
| <p>近年世界中で異常気象が頻繁に起きている。地球温暖化の問題で、気象学者が警鐘を発してもなかなか自分の身に置き換えて、受け止める事が出来ていない。</p> <p>日本気象協会の予測では、2060年頃には約3度C程度年平均気温が上昇し、緯度的には東京を超えと言われています。60年後、北海道は広大な面積の穀物基地となりえるが問題は降雪がほとんど無くなり、「水」流出のタイムラグをつける装置の天然ダムが無くなり、流氷が遠のき、生態系そのものが、大きく変化せざるを得ない状況におかれると言われている。</p> <p>春の雪解けで遡上する魚種によっては、ダムからの放流が無ければかなりが難しい状況下におかれることは想像に難く、日々の生活のライフラインを今から整備しておかなければならない。</p> <p>今、サクラマスにしか目を向けていないが、河川法（治水、利水、環境）に（気象）と言う要素を入れると、重箱の隅を爪楊枝で、ほじくる議論をしている場合では無い。</p> <p>すくなくとも大学の教壇に立ち講義をする人は、「大きな視野で、他に学び、耳を傾け、100年先の将来」に思いを馳せ意見を述べなければならぬはずである。</p> <p>北海道農業を誰よりも憂っていた、 在住、元 教授の さんが、平成17年3月逝った。</p> <p>ラジオ等で農業に関する、あらゆる問題を投げかけていたのが印象深い。退官後自ら 町に住み、クリーン農業の野菜作りを実践していた人である。</p> <p>サンルダムの場合、反対の人達は、流域に住む人達の生活や安全より、サクラマスの生態を優先しているが、人間社会にはいかなる価値判断があっても不思議ではない。</p> <p>しかしながら、単に反対の反対だけで自分の行動を伴わない、意見は言うが、責任を負わないと言うのであれば、余りにも空しい。</p> <p>本来ダムなどと言うものは「万が一」のために作っておくものであり、農業においてもいかなる時でも、「水」が無ければ何も出来ない。</p> <p>近い将来、日本の台所を支える北海道と願っていた 先生は、この現状をどう見るのだろうか、天国に行って話を聞いてきたいものである。</p> <p>多分、馬鹿共と、一喝されるであろうナー。</p> <p>*新聞社にお願いが有ります。「卓上四季」のように公平な目で見、聞き、新聞記事を書いて下さい。反対、賛成も含め偏らない姿勢を貫き、今後、気象学的に何が起こりうるのか、その為には、気象学者の話聞いて下さい。</p> <p>日本を含め世界で起きている事象を鋭く感得し将来向け、準備しなければならないのは何か、方向を見誤る事の無いように願います。</p> <p>*会議を抜け出し、便所でこそこそ打ち合はせをしながら、意見を述べるのは、他の人の話をしているのと同じことでありマナー違反していませんか。</p> <p>委員として、人間として、新聞社が認めるのだけは止めてほしいものです。それを認めることは、道新の資質が問われます。</p> | | | | | |

※ 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています